

神奈川県微生物検査情報

<http://www.eiken.pref.kanagawa.jp/>
神奈川県衛生研究所

第 174 号

平成 19 年 8 月 31 日発行
病原体検出は平成 19 年 4 月分

話題

6 月に発生した有症苦情(食中毒疑い)の 2 事例について

衛生研究所地域調査部の三分室(小田原、茅ヶ崎、厚木)では、それぞれの管内で食中毒様症状を呈した発生事例について原因菌の検索を行っています。その中で食中毒と特定できなかった事例について紹介します。

事例 1

(概要)平成 19 年 6 月 4 日、保健所は、5 月 25 日に鳥料理店で友人と飲食を共にした 2 名が食中毒様症状(発熱、下痢、嘔吐)を呈した旨の連絡を受け、発症者 2 名の検便および当該料理店の調理施設のふきとり 10 件、調理従事者 5 名の便について、食中毒菌検査を実施した。発症者 2 名及び従事者 1 名の便から *Campylobacter jejuni* を検出したが、3 名の血清型(Penner)は、G 群、P 群、R 群と異なった血清型を示し、同一感染源との特定は出来なかったため有症苦情扱いとなった。

(*Campylobacter* 食中毒について)

Campylobacter 食中毒では、食品が複数の血清型の菌に食品が汚染されている例も報告されている。そのため発症者からの *Campylobacter* の血清型が異なっても原因菌とする例も見られる。今回の発症者 1 名は大量に鳥レバーを摂取しており、鳥一羽のレバーは限られた量でもあることから、複数羽の鳥レバーを摂取した可能性が高いと考えられ、異なった血清型が検出される可能性があった。今回のふきとり検査では、*Campylobacter* は不検出であったが、当該料理店では、先般、同様な事件が発生し、喫食者、従事者から血清型の異なる *Campylobacter jejuni* を検出したことがあり、*Campylobacter* が調理環境を汚染している可能性も否定できない。

事例 2

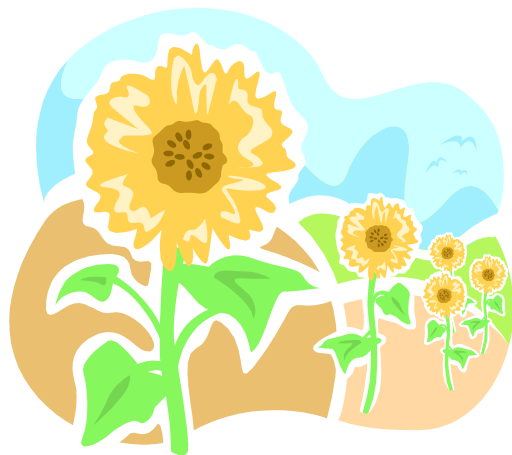
(概要)平成 19 年 6 月 7 日、診療所医師から下痢症状を呈した従業員 1 名の検便の結果、病原大腸菌 O6 が検出された旨の連絡があり、保健所が食中毒調査を行ったところ、患者の所属す

る事業所の社員寮 4 力所で食中毒様症状を呈している者が 27 名いることが判明した。

保健所では、発症者 22 名、社員の給食調理従事者 8 名の検便、検食 24 件と飲料用ウォータークーラー水 4 件、病院を受診した発症者 3 名由来の菌株、計 61 件の検体について食中毒菌及びウイルス検査（検便のみ）を実施した。その結果、菌株 3 検体と発症者 4 名の検便より腸管毒素原性大腸菌（EPEC）O159：H34 が検出され、ブタ型耐熱性エンテロトキシン遺伝子（STp）が確認された。給食調理従事者、検食、ウォータークーラー水からは EPEC は検出されなかった。食品や水からの EPEC の分離はきわめて困難であるとされている。喫食等の疫学調査の結果では食中毒事例とする十分な根拠を得ることが出来ず有症苦情となった。

診療所から病原大腸菌 O6 であるとされた菌株は、当所の再検査の結果 EPEC O159：H34(STp 陽性)であることが判明した。病院などで病原大腸菌とされた菌を再度確認すると O 抗原が異なることがあるが、これは大腸菌診断用血清によるのせガラス凝集テストを生菌のみで決定し、加熱菌を用いて確認されてないために起きてしまった可能性があり、注意が必要である。

（地域調査部 茅ヶ崎分室 後藤喜子）



病原体検出

表 1 病原体検出状況(保健所等別) 平成 19 年 4 月

	感染症および食中毒に伴う行政検査並びに依頼検査											病原体定点 1				合計				
	平塚保健所	鎌倉保健所	小田原保健所	茅ヶ崎保健所	三崎保健所	秦野保健所	厚木保健所	大和保健所	足柄上保健所	県域外発生関連調査	横須賀市保健所	相模原市保健所	藤沢市保健所	計	小児科		インフルエンザ	眼科	基幹	その他の医療機関
病原細菌	毒素原性大腸菌(ETEC)									1(1)				1(1)						1(1)
	その他の大腸菌 2			2										2						2
	カンピロバクター・ジェジュニ			8	1			1		1		4		15	1					16
	カンピロバクター・コリ														1					1
	カンピロバクター・ジエジエ/コリ											1		1						1
	黄色ブドウ球菌												13	13						13
計			10	1			1		1	1(1)	18		32	2					34(1)	
ウイルス・リケッチア	インフルエンザ AH1													1					1	
	インフルエンザ AH3													1					1	
	インフルエンザ B													2					2	
	コクサッキー A16													1					1	
	アデノ 2													1					1	
	ロタ													4					4	
	ノロ				6					4		21		31	4				35	
	計				6					4		21		31	14				45	
合計			10	7			1		5	1(1)	39		63(1)	16					79(1)	

1：病原体定点の検出数は横須賀市、相模原市、藤沢市も含めた定点の合計を計上した。()は海外渡航者数。

2：EHEC(VTEC)・ETEC・EIEC以外の大腸菌(病原性不明なもの)

<検出状況>

- 4月の病原体検出数は合計79件、細菌34件、ウイルス45件であった。
- 感染症および食中毒発生に伴う行政検査等では細菌が32件、ウイルスが31件検出された。
3月に比べて検出が細菌は3件から32件と増加し、ウイルスは54件から31件と減少した。
- 病原体定点等の医療機関からの検査では、細菌が2件、ウイルスが14件検出された。細菌及びウイルスともに小児科定点からの検出であった。
- 保健所管内別の検出状況は表1のとおりである。

表 2 病原細菌検出状況(臨床診断別) 平成 19 年 4 月

	感 染 症										食 中 毒	有 症 苦 情	(依 菌 類 者 検 査 検 査 1 査)	合 計
	コ レ ラ	細 菌 性 赤 痢	腸 チ フ ス	パ ラ チ フ ス	腸 管 出 血 性 大 腸 菌 感 染 症	A 群 溶 血 性 レ ン サ 球 菌 咽 頭 炎	感 染 性 胃 腸 炎	百 日 咳	淋 菌 感 染 症	マ イ コ プ ラ ズ マ 肺 炎				
検 査 検 体 数					4		9				66		1,273	1,304
毒素原性大腸菌(ETEC)							1(1)							1(1)
その他の大腸菌 2											2			2
カンピロバクター・ジェジュニ							1				15			16
カンピロバクター・コリ							1							1
カンピロバクター・ジェジュニ/コリ											1			1
黄色ブドウ球菌											13			13
計							3(1)				31			34(1)

1：依頼検査(保菌者検査)は、横須賀市、相模原市、藤沢市を除く。
海外渡航者数は(内数)として記載

2：EHEC(VTEC)・ETEC・EIEC以外の大腸菌(病原性不明なもの)

<検出状況>

- ・ カンピロバクター・ジェジュニが食中毒事例から 14 件され、感染性胃腸炎患者からは 1 件、カンピロバクター・コリ 1 件が同時に検出された。
- ・ 黄色ブドウ球菌が食中毒事例から検出された。なお、この事例ではカンピロバクター・ジェジュニ、カンピロバクター・ジェジュニ/コリ、ノロウイルスが同時に検出された。

表3 病原細菌検出状況(月別) 平成19年4月

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平成18年計	1月	2月	3月	4月	平成19年累計
腸管出血性大腸菌(EHEC)	4	6	1	3	6	7	1	16	1	49					
毒素原性大腸菌(ETEC)					5	2	2			9				1	1
その他の大腸菌	3		2		1	1	1	1	11	28	1	4	1	2	8
バラチフス A菌															
サルモネラ O4群				1				1		2		1			1
サルモネラ O7群			1	1						6					
サルモネラ O8群			1							2					
サルモネラ O9群							4			5	1				1
腸炎ピブリオ					3					3					
エロモナス・キャピエ															
ブレジオモナス・シグロイデス											1				1
カンピロバクター・ジェジュニ	3	1	8	2	8	1	6	2		38	1	4	1	16	22
カンピロバクター・コリ			1							1				1	1
カンピロバクター・ジェジュニ/コリ														1	1
黄色ブドウ球菌		1			4				7	12	4			13	17
ウエルシュ菌	80							2	11	93	1	7			8
セレウス菌									1	1					
赤痢菌 (<i>S. flexneri</i>)												1			1
赤痢菌 (<i>S. sonnei</i>)					1	1	1		2	5					
A群溶血レンサ球菌	3	6	14	2					1	39		1	4		5
コリネバクテリウム・ウルセランス				1						1					
淋菌				3	2	1				6					
マイコプラズマ・ニューモニエ							1			1					
レジオネラ・ニューモフィラ			2	2	9	7	3	2	1	27					
合計	93	14	30	15	39	20	19	24	35	328	9	18	6	34	67

< 検出状況 >

・ カンピロバクター・ジェジュニが、4月は検出が16件と増加した。平成18年12月を除いて毎月検出されている。

表4 ウイルス・リケッチア検出状況(臨床診断名別) 平成19年4月

	ウエストナイル熱	つが虫病	デング熱	急性脳炎	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	感染性胃腸炎	手足口病	風しん	ヘルパンギーナ	麻疹除(成人麻疹)	流行性耳下腺炎	インフルエンザ様	流行性角結膜炎	無菌性髄膜炎	成人麻疹	その他	食中毒様	合計
取り扱い検査件数				1			15	2				1	4					62	85
インフルエンザ AH1													1						1
インフルエンザ AH3													1						1
インフルエンザ B													2						2
コクサッキー A16								1											1
アデノ 2								1											1
ロタ							4												4
ノロ							4												31
計							8	2					4						31
																			45

< 検出状況 >

- ・ ノロウイルス感染による集団発生は4月に入って減少し、1事例の発生であった。
- ・ インフルエンザウイルスの検出数はAH1型1件、AH3型1件、B型2件と4月に入って減少した。
- ・ 小児科定点からの感染性胃腸炎患者から、ロタウイルスが4件、ノロウイルスが4件検出された。
- ・ 手足口病患者2件のうち1件の咽頭拭い液からコクサッキーウイルスA16型とアデノウイルス2型が同時検出された。

表5 ウイルス・リケッチア検出状況(月別) 平成19年4月

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平成18年計	1月	2月	3月	4月	平成19年累計
インフルエンザ AH1										45				1	1
インフルエンザ AH3										173	10	44	25	1	80
インフルエンザ B		2	1							3	25	11	18	2	56
パラインフルエンザ 1										2					
パラインフルエンザ 2								1		1					
R S									1	2					
ポリオ 3															
コクサッキー A2															
コクサッキー A4		4	15	5	1					25					
コクサッキー A5				1			2	1		4					
コクサッキー A6															
コクサッキー A9															
コクサッキー A10				1	1					2					
コクサッキー A12															
コクサッキー A14															
コクサッキー A16		1	3	7	8	6	5	2	1	33			1	1	2
コクサッキー B3						1				1					
コクサッキー B5				1	1		2	1		5					
エコー 3															
エコー 6															
エコー 18			1		3	4				8					
エコー 30				1						1					
エンテロ 71				1		1		1	1	4	1				1
バレコー 1															
ライノ															
ムンプス	2	1					3			7					
アデノ 1										1					
アデノ 2										1		1		1	2
アデノ 3	4	3	1	4		1				18	1				1
アデノ 4				1						2		1			1
アデノ 5															
アデノ 37										1			1		1
アデノ 40/41			2							2					
アデノ(型未決定)	1							1		2	1				1
単純ヘルペス 1	1	1			1		1	2	1	8	3	1			4
ロタ	9								1	33	1	2	7	4	14
小型球形			1							1					
ノロ	36	4					10	248	333	737	86	60	37	35	218
サポ		1							4	5	2	4	1		7
デング						1				1					
未同定				1	1	1				3					
リエンチア ツガムシ							1	2	1	4					
合計	53	17	24	23	16	18	21	259	343	1,135	130	124	90	45	389

< 検出状況 >

- ・ 4月に入り発生動向調査ではインフルエンザの患者報告数は急激に減少しが、インフルエンザウ

イルスの検出数でも AH3 型、B 型ともに減少した。今シーズンで初めて AH1 型が検出された。

- ・ ノロウイルスは、4 月は前月の検出数とほぼ同じで、35 件検出された。
- ・ ロタウイルスが 12 月から毎月検出されている。

表6 食品・環境由来の病原細菌検出状況 平成 19 年 4 月

(神奈川県衛生研究所検出)

検査検体数	病原細菌検出数及び検査検体数														
	食 品						環 境								
	4月			1-4月累計			4月			1-4月累計					
	食中毒等	除去検査	その他	食中毒等	除去検査	その他	海水 ¹	浴槽水等	食中毒等	その他	海水 ¹	浴槽水等	食中毒等	その他	
検査検体数				136	130	21							16	170	14
サルモネラ 04群					2	2									
サルモネラ 07群					4	3									
カンピロバクター・ジェジュニ						6									
カンピロバクター・コリ						1									
レジオネラ・ニューモフィラ 6群												1			
計					6	12							1		

1：河川水を含む。